

# 第34回(2019年)異文化コミュニケーション学会年次大会発表募集

大会テーマ:「ジェンダー平等を促進する教育、トレーニング、研究をめざして:  
男性性と特権を再考する」

2019年11月9日(土)~10日(日)、上智大学四ツ谷キャンパス

異文化コミュニケーション学会は、第34回年次大会を2019年11月9日(土)、10日(日)に上智大学四ツ谷キャンパスで開催いたします。異文化コミュニケーション研究に関する発表をお待ちしております。以下の要項をお読みになり、期限までに奮って応募くださいますようお願い申し上げます。

大会委員長: 出口真紀子(上智大学)

**申し込み要項 (WEB入力の際に、封筒に記載されている8桁の会員番号が必要になります)**

1. 発表者の氏名(共同発表の場合は、代表者を明記の上、全員の氏名)
2. 所属機関(共同発表の場合は、全員)
3. 連絡先住所、電話番号、メールアドレス(代表者のみ)
4. 発表タイトル(使用言語で記述、提出後の変更不可)
5. 発表形式と審査基準

## a.研究発表(30分)

当学会の研究内容にふさわしいか、また、目的、意義、方法、結論などが記述されているか。

## b.実践報告(30分)

異文化コミュニケーション活動に関する実践例を報告してあるか。

## c.ワークショップ(110分)

問題解決、スキル習得などに役立つもので、発表者がファシリテーターを務め、参加者が体験を通して学ぶことができる内容であるか。

## d.ポスターセッション(非会員であっても、本学会の会員の推薦があった場合には発表できます)

異文化コミュニケーション研究に関する研究の紹介やテーマの説明ができているか。

\* なお、以上の a.~d.のすべてにおいて、誤字脱字、文章の明瞭性や論理性なども審査の対象になります。

注意:(1)第1発表者としての発表は a.~d.のうち1回のみです。(2)発表日時の指定はできません。(3)審査の結果により、発表形式の変更(例えば、a.をb.に)や加筆・修正を前提に採用とすることがあります。なお、採用・不採用の理由については、いっさい開示できませんので、ご了承の上、お申し込みください。

6. 使用言語:英語なのか日本語なのかを明記
7. 発表の内容要旨(英語の場合は300語以内、日本語の場合は900字以内。発表決定後、大会プログラムにそのまま掲載されますので、提出後は変更できません)
8. 発表者(複数の場合はそれぞれの)プロフィール(使用言語で記述、英語50語以内、日本語100字以内)
9. 使用する機材がある場合は、その種類(ご希望の機材が使用できるかどうかは、確認の上、後日連絡いたします。申し込み時に申し出のない機材は使用できません)の問い合わせは、大会アドレスまで。

\* 以上の発表応募資格は、上記1の発表者(あるいは代表者)が当学会会員または他地域の SIETAR 組織の会員であることです。また発表代表者、共同発表者ともに大会参加費をお支払いいただきます。

**\* 発表希望の方で学会(SIETAR Japan)へ新規入会される方の申し込み期限は6月10日(月)、また、全発表者の年会費納入期限は6月17日(月)です。**

**応募期間:2019年6月1日(土)~2019年6月30日(日) \* 締切日以降のお申し込みは、いっさい受け付けません。**

学会のホームページにてお申し込みの後、メールにて受領のご返答を差し上げます。1週間経っても受領の返答がない場合は、大会アドレスまでご連絡ください。査読の結果(可否)につきましては、2019年8月31日(土)までに、お知らせする予定です。

\* 大会アドレス: [sietarjapanconference2019@gmail.com](mailto:sietarjapanconference2019@gmail.com) \* 会員番号の問い合わせ: [office@sietar-japan.org](mailto:office@sietar-japan.org)